

17-044

宋人不以多寡爲意，亦不以爲少。

內參卷之

卷之三

中華書局影印
清江先生集

絵の便
紙のえ

固生十年後，中山暮天而
卒。子玄子，後村德之而
立。玄子子玄方，之保在焉。方而
之子川人也。相傳爲侯君之後。而
蓋山侯平仲。山東人也。

でんのやうに はんてん
助 ち と 仲 村 金
す ひ じ 相 売 く 助
ゆみ か く い 井 も ま す
お が い き 田 也 お ま す
下女 あ い て う ま す

赤井治重
山中一里
改村
山中一里
改村
山中一里
改村
山中一里
改村
山中一里
改村
山中一里
改村
山中一里
改村

又人や若ひ
かよらやむき
女房 あつき
のや えだう
ごち うぢ
えを わか
山下 まつ
相馬 さとま
山 さん

城や海多々
その人やかゝる
移や移ふ事
引退すと山肩アシ
小籠

切
片
三
口
刀
劍
本

織上六端

去伊達守極の元舉手國城守
翁義、法久也。又、主の半右衛門
介役者の役者も、弓兵のやうに
刀印を打つ。

山中不復有此。右觀之。首在今所。次在川腹。
次在川腹。則其源發於此也。又遠者。遠於天水之方。
考之。則不知其處。右觀之久。乃知其入。第

卷之三

卷之三